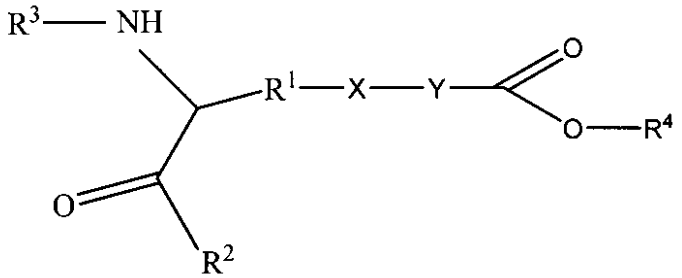
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成22年12月16日(2010.12.16)

【公表番号】特表2009-511031(P2009-511031A)
【公表日】平成21年3月19日(2009.3.19)
【年通号数】公開・登録公報2009-011
【出願番号】特願2008-534932(P2008-534932)
【国際特許分類】
Ａ２３Ｌ　1/227　(2006.01)
Ｃ１１Ｂ　9/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ 323/59　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ２３Ｌ　1/227　Ｚ
Ｃ１１Ｂ　9/00　Ｖ
Ｃ０７Ｃ 323/59

【手続補正書】
【提出日】平成22年10月8日(2010.10.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式（Ｉ）
【化１】



Ｉ

式中、残基Ｒ^{1}、Ｒ^{2}、Ｒ^{3}、Ｒ^{4}、ＸおよびＹは以下のように選択される：
Ｒ^{1}は、－ＣＨ$_{2}$－；－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$－または－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$－から選択される残基であり；
Ｒ^{2}は、－ＯＨ、－Ｏ－ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）ＣＨ$_{3}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）$_{2}$、－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$）、および－Ｏ－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）$_{2}$を含む直鎖状または分岐状の－Ｃ$_{1}$～Ｃ$_{5}$アルコキシ残基、
ならびにα－Ａｌａ、α－Ｇｌｙ、α－Ｖａｌ、α－Ｌｅｕ、α－Ｉｌｅ、α－Ｍｅｔ、α－Ｐｒｏ、α－Ｐｈｅ、α－Ｔｒｐ、α－Ｓｅｒ、α－Ｔｈｒ、α－Ａｓｎ、α－Ｇｌｎ、α－Ｔｙｒ、α－Ｃｙｓ、α－Ｌｙｓ、α－Ａｒｇ、α－Ｈｉｓ、α－Ａｓｐ、α－Ｇｌｕ、β－Ａｌａ、およびガンマアミノ酪酸（ＧＡＢＡ）からなる群から選択されるアミノ酸、ならびに４－ヒドロキシプロリン、ε－Ｎ，Ｎ，Ｎ－トリメチルリジン、３－メチルヒスチンジン、５－ヒドロキシリジン、Ｏ－ホスホセリン、ガンマ－カルボキシグルタミン酸塩、ε－Ｎ－アセチルリジン、ω－Ｎ－メチルアルギニン、Ｎ－アセチルセリン

、Ｎ，Ｎ，Ｎ－トリメチルアラニン、Ｎ－ホルミルメチオニンを含む稀なアミノ酸の残基から選択される残基であり；
Ｒ^{3}は、γ－Ｇｌｕ（－ＣＯ－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＮＨ$_{2}$）－ＣＯＯＨ）、およびβ－Ａｓｐ（－ＣＯ－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＮＨ$_{2}$）－ＣＯＯＨ）の残基の群から選択される残基であり；
Ｘは、－Ｓ－または－Ｏ－から選択される残基であり；
Ｙは、－ＣＨ$_{2}$－、－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$－、ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$－、－ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）－、－Ｃ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$－、－Ｃ（ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$－、－Ｃ（ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）（ＣＯＯＲ^{4}）－、－Ｃ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）（ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）－、－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）－、－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）－、－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－、
－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ$_{2}$－Ｃ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$－、－ＣＨ$_{2}$－Ｃ（ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$－、－ＣＨ$_{2}$－Ｃ（ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）（ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ$_{2}$－Ｃ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）（ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－、－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）－、－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）－、－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）－、－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－、
－ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）－ＣＨ$_{2}$－、－Ｃ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$－ＣＨ$_{2}$－、－Ｃ（ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$－ＣＨ$_{2}$－、－Ｃ（ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）（ＣＯＯＲ^{4}）－ＣＨ$_{2}$－、－Ｃ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）（ＣＯＯＲ^{4}）－ＣＨ$_{2}$－、－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－ＣＨ$_{2}$－、－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－ＣＨ$_{2}$－、－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－ＣＨ$_{2}$－、－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）－ＣＨ$_{2}$－、－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）－ＣＨ$_{2}$－、－ＣＨ（ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）$_{2}$）－ＣＨ$_{2}$－、－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^{4}）ＣＨ$_{2}$ＣＯＯＲ^{4}）－ＣＨ$_{2}$－からなる群から選択される残基であり；
Ｒ^{4}は、－ＣＨ$_{3}$、－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ$_{3}$、－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$、－ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）ＣＨ$_{3}$、－ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）$_{2}$、－ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）（ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{3}$）、および－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$ＣＨ（ＣＨ$_{3}$）$_{2}$
を含む直鎖状または分岐状のＣ$_{1}$～Ｃ$_{5}$アルキル残基から選択され、
ここで個々のＲ^{4}残基は、互いに独立して選択され、
ここで、２つより多くのＲ^{4}残基が存在するとき、少なくとも１つのＲ^{4}残基は、直鎖状または分岐状のＣ$_{1}$～Ｃ$_{5}$アルキル残基であり、残りのＲ^{4}残基の１または２以上はＨであってもよく、
ここで、Ｒ^{4}残基が、プロピル、ブチルまたはペンチル残基であるとき、他のＲ^{4}残基は、メチルもしくはエチルまたはＨから選択される、
で表される少なくとも１つの化合物、またはその塩のフレーバーとしての使用。

【請求項２】
２または３以上の同一のＲ^{4}残基が存在する、請求項１に記載の使用。

【請求項３】
Ｒ^{1}が、－ＣＨ$_{2}$－および－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$から選択される、請求項１に記載の使用。

【請求項４】
Ｒ^{1}が－ＣＨ$_{2}$－および－ＣＨ$_{2}$ＣＨ$_{2}$である、請求項１に記載の使用。

【請求項５】
Ｒ^{3}がγ－Ｇｌｕである、請求項１に記載の使用。

【請求項６】
Ｒ^{4}が、－ＣＨ$_{3}$および－ＣＨ$_{2}$－ＣＨ$_{3}$から選択される、請求項１に記載の使用。

【請求項７】

Ｘがｓである、請求項１に記載の使用。
【請求項８】
Ｙが、－ＣＨ$_2$－、－ＣＨ（ＣＯＯＲ^4）－、－ＣＨ（ＣＯＯＲ^4）ＣＨ$_2$－、－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^4）$_2$）－、－ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$－、－ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$－、および－ＣＨ（ＣＨ$_2$ＣＯＯＲ^4）ＣＨ$_2$からなる群から選択される、請求項１に記載の使用。
【請求項９】
Ｒ^{3}がγ－Ｇｌｕであり、Ｒ^{4}が－ＣＨ$_3$および－ＣＨ$_2$－ＣＨ$_3$から選択される、請求項１に記載の使用。
【請求項１０】
Ｒ^{3}がγ－Ｇｌｕであり、Ｘがｓである、請求項１に記載の使用。
【請求項１１】
Ｒ^{3}がγ－Ｇｌｕであり、Ｙが－ＣＨ$_2$－、－ＣＨ（ＣＯＯＲ^4）－、－ＣＨ（ＣＯＯＲ^4）ＣＨ$_2$－、－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^4）$_2$）－、－ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$－、－ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$－、および－ＣＨ（ＣＨ$_2$ＣＯＯＲ^4）ＣＨ$_2$からなる群から選択される、請求項１に記載の使用。
【請求項１２】
Ｒ^{3}がγ－Ｇｌｕであり、Ｒ^{4}が－ＣＨ$_3$、および－ＣＨ$_2$－ＣＨ$_3$から選択され、Ｘがｓであり、Ｙが－ＣＨ$_2$－、－ＣＨ（ＣＯＯＲ^4）－、－ＣＨ（ＣＯＯＲ^4）ＣＨ$_2$－、－ＣＨ（ＣＨ（ＣＯＯＲ^4）$_2$）－、－ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$－、－ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$ＣＨ$_2$－、および－ＣＨ（ＣＨ$_2$ＣＯＯＲ^4）ＣＨ$_2$からなる群から選択される、請求項１に記載の使用。
【請求項１３】
２つより多くのＲ^{4}残基が存在し、少なくとも１つのＲ^{4}残基が、直鎖状または分岐状のＣ$_1$～Ｃ$_5$アルキル残基であり、残りのＲ^{4}残基（単数または複数）の１または２以上がＨである、請求項１に記載の使用。
【請求項１４】
２つより多くのＲ^{4}残基が存在し、少なくとも１つのＲ^{4}残基が直鎖状または分岐状のＣ$_1$～Ｃ$_5$アルキル残基であり、残りのＲ^{4}残基（単数または複数）の２または３以上がＨである、請求項１に記載の使用。
【請求項１５】
請求項１～１４のいずれか一項に定義される化合物。
【請求項１６】
請求項１５の化合物を形成する方法。
【請求項１７】
請求項１～１４のいずれか一項に定義される式Ｉで表される１または２以上の化合物、もしくはそれらの混合物を含むフレーバー組成物。
【請求項１８】
請求項１～１４のいずれか一項に定義される式（Ｉ）で表される１または２以上の式Ｉの化合物またはそれらの混合物を１～２５，０００ｐｐｍ（重量／重量）の濃度で含む消費財。
【請求項１９】
コク味を付与するために十分な濃度で、請求項１～１４のいずれか一項に定義される１または２以上の化合物を消費財へ添加することを含む、消費財にコク味フレーバーを付与する方法。
【請求項２０】
化合物を、当該化合物が生成された未精製の酵素反応混合物の形態で、かかる混合物の粗製の抽出物の形態で、植物抽出物の形態で、植物単離物の形態で、または精製された形態で加える、請求項１９に記載の方法。